

美濃加茂市公共交通将来検討会議（みのかも SDGs 推進協議会・交通部会）
参加者の意見（抜粋）

【Maas について】

- ・ Maas により、移動検索、移動計画、予約、決済がスマホ 1 つでできる。
- ・ 移動がサブスクリプション化される。レベルが上がると、音楽の定額聞き放題のように、アプリを活用したバス、電車、タクシー等月額定額乗り放題サービス等も可能になる。
- ・ 地域公共交通は税金で動いているため、「Have to do」の「行かなければならない移動」（病院、買い物等）を支えている一方で、そこにはカラオケに行きたい、習い事に行きたい等の「Want to do」がない。
- ・ Maas が入ったときには「Want to do」を実現する Maas じゃないといけない。

【新しい交通システムについて】

- ・ JR 西日本とソフトバンクが共同で接続バスの実証実験を始めるとのこと。その接続バスは大きなバスも中型のバスも小型のバスも全部くつつくらしい。それを実証実験させてくれる自治体を探してるということだが、美濃加茂市も手をあげるといいなと思っている。北の方から小さなバスで人を集めてきて、途中から中型バスとくつついて、最後は大きなバスが街の中に入ってくる。そんな連結バスの仕組みができてくる。
- ・ 駅から病院、新庁舎から新保健センターのつなぎとしてのサーキュレーションができるといい。それが健康と防災基盤に繋がっていく。
- ・ エレベーターは無料で乗るもの。施設が維持管理のお金を払う。水平エレベーターを作りましょう。駅と病院、病院と文化の森の水平エレベーター。それが自動運転バス。
- ・ 以前はバスの時間に人が合わせていた。今ネットフリックス等、自分達の好きな時に好きなものを見るという時代。公共交通も自分達が好きな時に移動する時代。パーソナルな公共交通が主体になってくる。これからの時代はタクシー。自動化のタクシー。しかしそればかりになると大渋滞。そこでマストラは必要。
- ・ 小回りの利く交通は重要。乗り捨てができる自転車によって、行きは自転車、帰りはタクシー等もできる。
- ・ 都会の子はバスや地下鉄が当たり前。美濃加茂でもあい愛バスでそのような文化をつくりたい。小さい頃からバスに触れ合って、その子たちが大人になった頃にバスが当たり前だっという風になつたらいいなと思う。